

結束の強さ見せた

部員全員が一つとなり、伝統ある関学の名に恥じぬ、素晴らしい成績を収めた今大会。現役生活を締めくくると、さまざまな思いを抱く4年生たちの活躍が輝いた試合となった。

負けぬ強さ

乱取男子団体戦、初戦の相手は昨年、全日で敗北を喫した近大。苦い記憶を一掃すべく、進化したチームがベールを脱ぐ。先鋒・西蔵悠文(文3)は華麗に一本技を決め、率先のいいスタートを切る。波に乗りたい関学であったが、次第・老田信之(主将・文4)は、接戦を善くし、チームとして、彼自身にとっても痛い黒星となった。続く中堅・田村和浩(経4)は次々と得点を重ね、最後には庄・関学へ、老田に続き残り2人を勝利を飾り、チーム全員で勝ち取った大会3連覇、チームのためにという言葉を胸に、戦い抜いた結果、戦いに勝った。

後輩へ継承

引する男の白星で、王手をかけ、だが副将の敗北で全ては大役を担うのは松本朝樹(文2)。一歩リードで迎えた後半、残り時間わずかでの状況で得点を許す。「一瞬あきらめかけていた。チームの誰かが腹裏に敗北という言葉が浮かぶ。だが彼は攻めの姿勢を崩さず、ラスト5秒で相手を投げ倒した。技ありの判定で大逆転を演じた。見事な勝ち星を挙げた。この勝利でチームは勢いづき、準決勝も勝ち上がり、いざ決勝へ。

貫禄の演武

東郷久美(文2)・岡奈央(子・文4)組の目標は関西制覇への道のりは2カ月前にさかのぼる。常に関は後輩の東郷をリードし、また東郷は自分の技に満足することなく、向上に努めた。そして短期間で演武を完成させ、関東大会で優勝を果たし、自信をつけた。入迎えた関西大会、予選、決勝、トーナメントを難く勝ち進み、決勝の舞台へ。楽しみながら2人は演武を披露。そして目標を見事に達成。現役最後の演武を有終の美で飾った両は喜びの笑顔を見せた。

38年ぶり!!男子団体

今季、関西制覇に向けて実力は十分の関学ゴルフ部。選手たち全員がそれぞれ、力を発揮し1日目、2日目ともにトップを走り続け優勝を果たした。

5月25、26日 於・宝塚ゴルフ倶楽部
関西学生男子春季1部校学校対抗戦



鋭いティショットを放つ上

台帳道部

ゴルフ部

大きな飛躍

昨年、惜しくも準優勝だった関学。彼らは今年リベンジを懸け、春季リーグ戦に挑んだ。各大学1組ずつラウンドし、初日は2ラウンド、2日は1ラウンド回る。そしてスコアの低い上位4人の2日間の合計で勝敗が争われる。初日の1ラウンド目は、緊張から少し固くなっていて選手たち。だが、2ラウンド目には落ち着き始め、自分たちのプレーを取り戻していく。その中で、牧野祐士(経3)、眞島涼(人1)などが、好スコアを収め、チームを盛り立てる。そして、関学はトップに踊り出るも、2位の近大と4打差というきん差だ。たがそんな状況でも、彼らの優勝への自信が揺らぐことはなかった。今年も優勝は、関学勢は皆そう確信し、2日目へと進む。

喜びの表情を見せる部員たち



喜ぶの表情を見せる部員たち

2連覇の夢

迎えた2日目、近大との差はほとんどなかったものの、彼らに焦りはなかった。自分たちのプレーをするだけ意識する。そして、3ラウンド目へ、快晴の空に向かい、選手たちはそれぞれフェアウェイ、グリーン、グリーンを走り抜けた。2日目もフェアウェイがさえずり、好調だった。スコアの低い上位4人の2日間の合計で勝敗が争われる。王者に、その時、喜びの表情を浮かべた選手たちの拍手が響き渡った。また今大会、関学ゴルフ部の功績に大きく貢献した眞島、彼、彼、全選手の中からトップスコアを収めた者に贈られた。選手と共に各ホールを回り、支えてきたキャディ、手を応援し続けてきたキャプテン、部員全員で戦った姿がチームを関西制覇へと導いた。今大会、大きな飛躍を見せたゴルフ部。だが、彼らの実力はまだまだ計りしれない。秋季リーグ戦では、今以上に成長した彼らが春秋連覇の目標を現実のものにする。(立山祐希子)

関

西



乱取団体アベックで快挙!!

6月14日 於・住吉武道館
第29回関西学生合気道競技大会

後輩へ最後の勇姿を見せる田村(左)

試合速報
◆ボクシング 第83回近畿学生リーグ戦 2部優勝



新チームとなり、新しいカラーを輝かせるソフトテニス部。女子、日本一と誇る庄は引き継がれ、元気で明るい1年生がチームを盛り上げている。そんなソフトテニス部女子を引っかき、主将・池島(商4)、池島(社1)は「部員にはブレいだけでない、練習に対する姿勢を見ても2・4で敗れていた」と語る。彼女を筆頭に、黒屋(文4)にチームは優勝を目標に春リ

初日、早場場のボイン、会場が静寂。4ヶ月の「ミスなくいいなと思

4月18、19日
4月26日 於
関西学生ソフト